

大里中学校

ぬくもりを感じる給食

— A 瀬山 心音

「今日も、とても美味しそうだな。私は、目の前にある給食を見るたびに、毎回このように思います。そして、私の通う中学校では自校式給食のため、毎回温かいぬくもりを感じる給食をいただく事が出来ます。友達やクラスメイトと楽しく会話をしながら食べる給食は最高です。」

毎日美味しい給食を食べられる事が当たり前のように感じますが、私達が安心して温かい給食を食べられるには、栄養士の方が、私達の体に合った必要な栄養素やカロリー計算を細かくしてくれ、さらに美味しく食べられるメニューや世界各国の料理のメニューを考えて献立をたててくれたり、安心な食材を購入してくれています。給食調理員の方々は、給食の時間に間に合うように、全校分の給食を午前中から準備・調理をし、毎日温かく、美味しい給食を作ってくれています。そして、

次の日も調理出来るようにきれいに後片付けをし、安心・安全で美味しい給食を提供してくれていきます。このように、沢山の方々のおかげで美味しい給食が食べられる事に感謝して、好き・嫌いせず、残さずに食べなければいけないと思います。

しかし、環境省のホームページによると、学校給食の食べ残しは年間約五万トン発生しているようです。想像が出来ない量の給食が廃棄されてしまっていることにおどろくこと

3

もに、沢山の方々が私達の事を考えて、頑張ってお作ってくれている、どんな時も元気になれる給食が廃棄されてしまう事に心が痛くなりました。

4

これから、全国の学校給食の廃棄ゼロになるように、まずは自分が給食を残さず、感謝を忘れずに、沢山の方々のぬくもりを感じながらいただけだと思います。